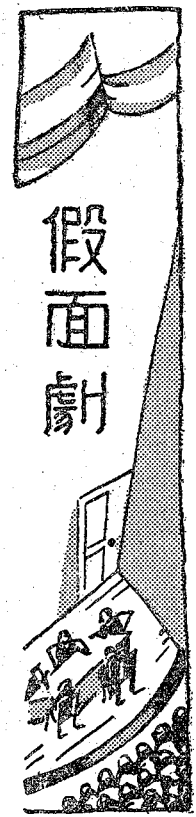

注意
本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻擊に渉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

紀元節を祝するの眞義

日に新に日に日に新に又日に新にすべく舊染の汚を滌ぎて自ら新にすべきは造次顚沛にも怠つてはならない、我々日本人が沐浴を好むは眇たる一身に於てもまた新なるを喜ぶの心情なり、我が建國の賀節に際し甲冑に身を固めて武士の風を模倣して保守的精神家なりと得意がるが如きは厭ふべきの心得である、旗を樹てゝ隊伍を組み半ば興味的な行動を取るが如きは愼むべきことである皇祖建國の鴻業に思をひそめ平時の弊習陋心を去り更始一新の意氣に活くるの途を辿ることが肝要である非常時にあつては昂奮し易きが人情の常であるから非常時の聲を聞くも泰然として奉公の誠を竭すべく徒らに他の奇を追ふの行動に狼狽し之に雷同するの弊を排け眞に紀元節の意義を考ふることを務めねばならぬ、近く紀元節を迎ふるに當り所感の一端を記す。

（建依別生）

得意か失意か

這次地方官に大交迭が行はれた、知事部長事務官の各階級に渉り實に二百數十人に及んでおる、未曾有の變動である、其處には退職榮進右遷左遷が行はれて各人は得意と失意、滿足と不滿足、喜悅と不平、歡喜と悲哀、などの感情が高潮に達したことであらう、盛者必滅會者定離の佛法的觀念はともかく人間萬事塞翁の馬である、好運と非運とは交錯來襲するのが人生である、されば非運に遭遇するも失意に陷つてはならぬ好運がめぐり來ても得意に誇つてはならぬ、吾々赤裸にて生まる、與らるゝも奪はるゝも一切を天に委かせ國民として社會人として家庭人として最大の努力と至誠の精神とを以て境遇の變化に伴ふて行動すべく得意を以て高慢となり失意を以て自棄すべきものでない、何時かはめぐる小車の好運に再回することもあるべく又敢て好運の招來なくとも至誠至眞の人格者たるに於ては心常に安んじ寔に神人同一の境地に在るを得るのである、使徒保羅が貧しきに居るの

途を知りまた富に居るの途を知り得意の時にも失意の時にも平然として其職責を完ふしたるは吾人の深く學ぶべき所である、我々大和民族の强みは之に在る、嗚呼勉めんかな。（夏木生）

學んで思へ

或る集會の席上で一紳士が「近頃巧妙な文句を耳にした夫れは論語に學んで思はざれば則ち罔く思ふて學ばざれば則ち殆うしと云ふ句があるが之をもぢつて思ふて學ばざれば則右す、學んで思はざれば則ち左す吾は則ち中庸を執らんとの句だ僕は頗る其巧妙に驚いた」と言ふと隣席の一紳士が夫りや中々よく言つたものだ二千四百年前既に孔子がソンナ近代的思想に關して警句を吐いて居るとは驚いたと言つた、前の紳士が貴下は論語を讀んだことがないですかと問ふた處が論語は學んだが其後其を思はざること久いものだと答へたスルト給仕が先生はだん〳〵左傾主義になりかけて居りますかと此奇問には滿座皆驚いた、（KG生）

果して何の爲の議會ぞ

國政を翼賛し國策を討議し歳入出豫算を審議し以て國運の暢展を計ることが帝國議會の職能で議員の責務である、故に議員に言論の自由を許し議場内の言論に際しては院外に於て責任なきことを保障して得る、議員に此保障があるから赤心を吐露して以て衆智を集め議決として之を表現するを得る、其言論の自由を利用して國策審議に先ちて爆露的な泥仕合的な意見を吐いたり故意に人身攻撃的言論を敢てすると云ふが如きは事の本末輕重前後を知らざるの行動である、天下の選良の辿るべき途でない、何んとかして爲政の局に當る者を窮窮せしむるが如きの業は避けねばならぬ事である、然るに事茲に出でず議會開會の初から個人問題に貴重なる時間を費やし新聞紙上を賑かならしむるを得意に思ふが如き事の少からぬを痛感する。（愚直生）

歩道の危險

安全に歩行者の自由なる歩行を爲さしむるが爲めに都市の街路には歩道の設けがある、處が電柱が亂立して居る、商店前には物置場所とも思はるゝ程車や荷物が積まれてある、自轉車乘は車道によらずして歩道を乘り廻はす巡査は見て見振りである、何んと歩道の危險なることよ、其他自動車は其方向轉換の爲めに車體を不意に歩道に突入することが少なくない歩行者は此不意打ちに驚いて他の靴や草履を踏み之を詫びんとして頭を下ぐれば額と額が衝突する目から火が出る汗が出る子供老人はうろたへるモダーンガールはふくれ出す和服女は泣き顔する、歩道の交通禍何んといまわしきではありませんか眞白き足袋も忽ち泥まみれ是れぢや外出は禁物だ車道の取締りでゴーストップの信號のみでなく歩道の上にも注意を加へられたい。（房子）